

主な記事

2面:全自交労連第76回定期大会、国会議員が一部改正の概要を公表
3面:第48回機関紙コンクール
4面:石川ハイタク連合会定期大会、茨城地本組織拡大、岩手地本組織拡大

全自交しんぶん

第1204号

11月1日

(有料制1028号)

2020年/令和2年

THE ZENJIKO 全自交しんぶん

発行=全国自動車交通労働組合連合会 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目7番9号 電話=03東京(3408)0875 FAX=03東京(3497)0107 zenjiko-roren@zenjiko.or.jp 発行責任者=松永 次央 原則毎月15日発行(月1回) ……購読料 1ヵ月 70円……

コロナ危機を乗り越え、交通崩壊防衛!

全自交労連第76回定期大会



団結力でコロナ危機を乗り越える運動を決意

ライドシェア導入阻止し、地域公共交通創出

全自交労連は10月20日、東京・全自交会館でコロナ禍により規模を縮小して第76回定期大会を開き、事前に配布した「賛否回答票」の集約を行い、「コロナ危機を団結した力で乗り越えよう」「交通崩壊を阻止し、雇用労働条件を守り抜こう」「ライドシェア導入を許さず、生活に欠かせない地域公共交通を自治体・住民とともに創出しよう」のスローガンと新年度運動方針・予算を決定しました。また、コロナ禍の長期化も予想されることから今後、書面大会を可能とする規約改正も行いました。

本田有副委員長が開会挨拶 長団に選出。大会書記には東 水野潔副委員長が出席状況、東京地連の池端清浩代議 京地連の川幡喜司代議員が務 委任状提出状況を報告し大会員と筒井守代議員の両名を議 めました。資格審査委員長長の の成立を確認した後、全自交



挨拶する伊藤実委員長

労連の伊藤実中央執行委員長 代表のメッセージを披露し、大会スローガンを全体で確認 中、経営側との意思疎通を 密にし雇用を守る。稼働状 況や実車率を分析し、適正な 台数を地域協議会を活用して 実現して行こう」と参加者に 訴えました。 その後、立憲民主党・枝野

1から第5号議案のすべての

旭川市が公共交通運転従事者を慰労金で直接支援

路線バス・タクシー運転従事者に1人2万円を支給

北海道の旭川市は10月16日、「新型コロナウイルス感染症に関する第6次緊急対策」を公表し、その中で「公共交通運転従事者への慰労金を創設。路線バス、タクシー乗務員に直接慰労金を支給する」ことを初めて。 北海道では紋別市が7月に公共交通事業者に対する「北海道知事にもタクシー乗

韓国 タクシー運転者に9万円支給

韓国はタクシー運転者に対する災害支援金として10月末から9万円を支給と発表しました。「盾をより強くするた

に公共交通安全事業者に対する「1事業者」

ナンバー

▼コロナ禍で社会活動に不可欠な仕事を尊敬と感謝の意を込めエッセンシャルワーカー(EW)と呼び始めた。日頃は低賃金を強いられ、コロナ禍では高い感染リスクの中で働く人々であり、ハイタク乗務員もその典型だ。▼厚労省は医療従事者に最大20万円の慰労金を支給し、介護職員まで拡大したが、公共交通、配達・運送スパー等もと拡大すべきだ。そんな中、旭川市が独自にタクシー乗務員に慰労金の支給決定は勇気付けられる。▼ヤマト運輸やスパー「ライブ」も全従業員に緊急特別感謝金等を支給。タクシー会社では支給する会社がほんの一部にすぎない。▼4月にニューヨーク州のクオモ知事は言った。「EWは、毎日この危機を乗り越えて最前線に立つ人々だ。犠牲と努力が適切に認められるようにしなければならぬ」「ウイルスに曝露し続ける限り、彼らはふさわしい補償を受けるべきだ。私は政府に対し、これらの最前線の労働者に危険手当を提供し、50%のボーナスを与えるよう求める」「彼らはこの危機における真の英雄なのだ」と。同じ言葉

を言える政治家は菅政権内

全自交労連第76回定期大会

すべての議案を「反対ゼロ」で採択

全自交労連第76回定期大会の成立状況は、出席した役員22名(委任状8)、中央委員1名(委任状51)、代議員3名(委任状77)、委任状合計が136枚で合計162となり、大会構成員の100%を確認して成立。1〜5号議案のすべてが全員の賛成で採択されました。



議長団の池端代議員(左)と筒井代議員



大会書記の川幡代議員

「賛否回答票」の集計結果

○第1号議案	1年間の活動報告・闘争総括承認	124	反対0	未提出12	合計136
○第2号議案	2019年度会計報告、監査報告承認	124	反対0	未提出12	合計136
○第3号議案	新年度運動方針(案)	賛成124	反対0	未提出12	合計136
○第4号議案	新年度予算(案)	賛成124	反対0	未提出12	合計136
○第5号議案	規約改正(案)	賛成115	反対0	未提出21	合計136

- 大会スローガン
- コロナ危機を団結した力で乗り越えよう!
 - 「交通崩壊」を阻止し、雇用・労働条件を守り抜こう!
 - ライドシェア導入を許さず、生活に欠かせない
 - 地域公共交通を自治体・住民とともに創出しよう!

(サブスローガン)

1. 新型コロナ感染防止策を徹底させ、タクシー労働者の命を守ろう!
公共交通に対する強力な支援を求め、雇用と労働条件を確保しよう!
2. 自治体に対し、タクシーを重要な公共交通機関・災害時輸送機関として認識させ、タクシー産業を守り、活用する交通・福祉政策を実現しよう!
3. 安心して生活できる職場環境、賃金・休業補償・危険手当を獲得しよう!公共交通労働者にふさわしい労働条件を築こう!
4. 白タク・ライドシェア導入を絶対に許さず!適正需給と適正運賃を実現し、良質で多様なサービスと安定供給を確立しよう!
5. 労基法・「改善基準告示」違反をタクシー職場から一掃しよう!定年延長と「同一労働・同一賃金」に向け前進しよう!
6. 違法な白タクを根絶!白ナンバー有償輸送の安易な拡大反対!運転代行の適正化に向け、監査・取り締まりを強化させよう!
7. コロナ危機に無為無策な安倍政権を継承する菅政権を打倒し、命と生活と未来のために政権交代を実現しよう!憲法改悪・戦争政策・格差社会を許さず、平和の下で共生できる社会を築こう!
8. 職場と地域の運動と政策要求を強め、組織拡大に前進しよう!

大会宣言

本日、全自交労連は第76回定期大会を東京の全自交会館大会議室で書面審議として開催し、コロナ危機を団結した力で乗り越え、「交通崩壊」を阻止し、雇用と労働条件を守り抜くために闘う方針を決定した。

前安倍首相をはじめとする自民党政権は、中国・武漢で拡大していた新型コロナウイルス感染拡大を軽視すると同時に、東京オリンピック・パラリンピック開催に影響が出ることを恐れ、国内での感染者を表沙汰にせず後手に回した人災といえる。その後の国内感染の状況や、国民に対する補償を含めた危機管理の無為無策とともに、戦後初の緊急事態宣言を発し、「補償なき自粛」で多くの失業者を生み出し、格差と貧困を拡大しながら国民生活を極度に脅かした政権を厳しく非難しなければならない。

安倍首相は8月28日、突然総理職の辞任を発表した。建前上は病気が原因といわれているが、第一次政権時と同じように、政策が八方ふさがりのうえ、コロナ対策で支持率低下を招いた。これまでも政治の私物化と公文書の「隠ぺい」「改ざん」を繰り返してきたうえに、コロナ対策にまで利権を追求し、国民生活を犠牲にする政府自民党を許さず、「誰もが安心して生活できる社会」にしていかなければならない。

コロナ危機によりこれまで経験のない社会環境の変容を求められ、多くの国民が、目に見えぬ恐怖に苛まれている中であっても、ハイヤー・タクシーは生活に欠かせない地域公共交通であり、そこで働く運転者はエッセンシャルワーカーである。この新型コロナウイルスで人々の生活様式に変化が出たことで、ハイタク業界も3月から6月にかけて瞬く間に営業収入が大幅に落ち込んだ。その落ち込み度合いはこれまでに前例がなく、倒産・廃業が現実になり、今後続出してもおかしくない程の落ち込みが現在でも続いている。

我々の業種はエッセンシャルワーカーであるにもかかわらず、労働条件は低く抑えられて来たうえに歩合制主体の賃金体系で今日に至っている。今回のコロナ禍で、運転者の賃金は生活できない水準まで落ち込み、規制緩和当時を大きく上回るほどの逼迫した状況に陥っている。ライドシェアの導入を現在でも積極的に推し進めようとする勢力を我々は断固として許さず、また、近年は運動の柱として闘ってきた。労働条件改善とライドシェア導入阻止の闘いを今後も継続しながら、現下の窮状に対してハイタク産業の救済や、運転者の「危険手当」等の導入を政府や自治体をはじめ多方面に強く要請するとともに、人々の日常生活に必要な現場を維持・継続するため我々は団結して前進することをここに宣言する。

2020年10月20日

全国自動車交通労働組合連合会
第76回定期大会

等、「1/2」を超えている状況も相当あり、「1/2」の範囲内」を維持したとしても支障はないはず。●バス・タクシーを地域交通に最大限活用し、その運賃を補助する等の措置で生活交通を守ること。●安全確保の観点から、二種免許を義務化すべき。●コロナ禍の影響で休業・廃業が増加しており、これ以上「交通空白地」を拡大させないためにも、タクシーの営業区域を旧市町村から今現在の市町村単位にすること。

【案件番号:155200931】「地域公共交通会議に関する国土交通省としての考え方について」等の一部改正等について
国土交通省自動車局旅客課 パブリックコメント担当 ★電子メールアドレス:hqt-ryokaku@ml.mlit.go.jp
★FAX番号 03-5253-1636 ★郵送 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省が地域公共交通会議の一部改正の概要を公表

自家用有償運送の対価「1/2超」明記

パブリックコメントを募集11月14日(土)まで

自家用有償運送を営利事業にするな
ライドシェア導入に道を開かせない

国土交通省は10月、「改正地域公共交通活性化・再生法」の施行に伴い、「地域公共交通会議」に関する国土交通省としての考え方について「等の一部改正について(概要)を公表しました。

自家用有償運送を運送目的による交通空白地有償運送(仮称)と福祉有償運送(仮称)の2類型に整理するとともに、新たにタクシー事業者が有償運送を担えるよう「事業者協働型自家用有償運送」を新設

国土交通省は10月15日(木)から11月14日(土)までパブリックコメントを募集したうえで11月下旬に公布・施行するスケジュールを予定しています。各地から地域の実情を踏まえた意見を送りましょう。

その中で事業用車両の持ち込みも可能としています。さらに、利用者から收受する対価についてこれまでの「タクシーの上限運賃の概ね1/2の範囲内」を改め、「1/2を超える対価の設定ができるように明記」としています。

また、「地域の交通状況の把握」に触れ、「更なる移動手段の検討が必要か判断」との記載もあります。

「改正地域公共交通活性化・再生法」成立時の国会附帯決議にあるように、この改正で自家用有償運送が事実上の営利事業としてタクシー事業者の経営を圧迫することがあつてはなりません。

また、今回の改正が「ライドシェア」の導入に道を開く契機にさせないために警戒・監視していかねばなりません。

国土交通省に各地からパブリックコメントを送ろう

「1/2」を超えない対価の設定は反対。利用者にとっても望ましくない。少なくとも「事業協力型自家用有償運送」で事業用自動車を持ち込む場合に限るべき。●対価水準については、現行においても、「迎車回送料金」「介助料」

今回の改正においても「地域公共交通会議」が関係者の意見が反映される協議を経るに決めた「満場一致による法的に決めた」以上「等」の決め事を「とんで」に万全を期すことが求められています。

全自交労連第48回機関紙コンクール

最優秀賞は日交労の「いしずえ」と「湾岸新木場」

【1】日交労湾岸支部 WANGANSHINKIBA 2020/08/20 No.82

職場の環境改善が最重要
営業所分割移転から
まもなく10年、
今後も協力をお願いします。

まもなく、新木場営業所から10年を迎えることになり、湾岸支部も8支部から別れることになり、10月1日より、湾岸支部は「湾岸新木場」として活動することになりました。10月10日の定例会で、今後の活動方針について話し合い、決定しました。営業所分割移転からまもなく10年、今後も協力をお願いします。

湾岸新木場

な推移ともない、日本交...
また、新木場営業所...
また、新木場営業所...
また、新木場営業所...

葛西営業所
営業所が新たにオープン

8月16日、葛西営業所...
葛西営業所が新たにオープン...
葛西営業所が新たにオープン...

【2】2019年11月15日 日交労組合機関紙 第547号

2019 秋闘
繰り返し要求し前進を目指す
23項目+166項目の要求書を提出

日交労組合は、2019年11月15日、23項目+166項目の要求書を提出し、労連に提出しました。

2019秋闘要求書

1. 共通要求
 - (1) 各営業所の労働環境を改善すること
 - (2) ワンマンの交代、労働組合員に労働時間短縮を促すこと
 - (3) 2021年10月1日入社者の就業条件改善を促すこと
 - (4) 残業時間を月50時間以内にとどめること
2. ハイヤー部門
 - (1) 日勤・フルタイム勤務の待遇改善を促すこと
 - (2) 通勤手当の増額を促すこと
 - (3) 通勤バスでハイヤー一乗車を確保し交通を改善すること
 - (4) 通勤バスにスーツの支給を促すこと
3. 都内タクシー部門
 - (1) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
 - (2) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
 - (3) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
 - (4) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
4. 地域関係
 - (1) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
 - (2) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
 - (3) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
 - (4) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
5. 技工・職員部門
 - (1) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
 - (2) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
 - (3) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること
 - (4) 労務管理・福利システムの不具合を完全解消すること

いしずえ

日交労組合 編集 編集 編集

ハイタク労働者の待遇改善が急務
全自交労連第75回定期大会

ハイタク労働者の待遇改善が急務...
ハイタク労働者の待遇改善が急務...

最優秀の表彰を受ける藤田さん(右)と星さん(左)

最優秀の表彰を受ける藤田さん(右)と星さん(左)...

第76回 定例会



「いしずえ」は殺伐としたコ...
「いしずえ」は殺伐としたコ...
「いしずえ」は殺伐としたコ...

第48回機関紙コンクール総評

新型コロナウイルス禍の下、「最良の機関紙とは何か」を考えてみよう

新型コロナウイルス禍の下、「最良の機関紙とは何か」を考えてみよう...

元情報労連中央本部広報部長 元日本ジャーナリスト協会副理事長 佐藤晴之

元情報労連中央本部広報部長 元日本ジャーナリスト協会副理事長 佐藤晴之...

各紙に寄せられたさまざまな「声」

「ハイタク業界からも感染者が確認されたことにより、タクシーに乗るのは危険」などもありもしない噂が流れた(I紙)。
「新木場営業所では営業収入が落ち込み、4月中旬には2万円まで落ち込んだ。稼働調整で4万円を維持できるところまで戻しているが、休業補償で収入が激変した(S紙)。
「事業者によっては休業を行ない、政府の雇用調整助成金を活用し、労働者の雇用と生活を守ろうとした一方、まったく休業せず営業収入も望めない状況でも運行を継続し、最低賃金をも支払わない事業者もいた(K紙)。
「夜の繁華街では飲食店が早めに閉めるので、客足はまだ戻ってきていない(L紙)。
「コロナ感染の軽症者を自宅からホテルへ送る任に携わった。ホテルまでは1時間ほどを要することから送迎中の患者の容態にはとりわけ気を遣いながらハンドルを握った(R紙)。
「営業収入が急激に落ち込み会社と団体交渉をした。会社に休業してもらい、補償で給料を支払ってくれるよう要求したが断られた。それなら最低賃金の支払いを要求したが、これも断られた(J紙)。
この機会に機関紙のあり様を考えてみることも
機関紙の発行日が近づくと、なんとなくそわそわするのは、編集者の常かもしれません。しかし、機関紙発行が中断されると喜びも束の間、ぼっくりと空いた時間をどう過ごそうかと考える人もいるかもしれません。このような時にこそ、これまでの機関紙づくりにかかわってきた自分を振り返ってみる、新型コロナウイルスの自粛を余儀なくされた時間の中で、もう一度機関紙のあり様を考えてみる—このようなことに向き合う姿勢が変化をもたらすものです。「最良の記事とは何か」という視界が見えてくるチャンスにしたいものです。ご健闘を祈ります。

特別賞に「全自交関西」・「千住」・「常盤台風」・「あかさか」の4紙が入選

最優秀賞	『いしずえ』	東京・日交労働組合本部
	『湾岸新木場』	東京・日交労働組合湾岸支部
特別賞	『全自交関西』	大阪・全自交関西地方連合会
	『千住』	東京・日交労働組合千住支部
	『常盤台風』	東京・日交労働組合常盤台支部
	『あかさか』	東京・日交労働組合赤坂支部
優秀賞	『みたか』	東京・日交労働組合三鷹支部
	『赤羽G.com』	東京・日交労働組合赤羽支部
	『中央』	東京・日交労働組合中央支部
	『躍進』	東京・東洋交通労働組合
佳作	『東京FLEET』	東京・全自交東京地方連合会
	『ぎんざ』	東京・日交労働組合銀座支部
	『羅針盤』	東京・日交労働組合八潮支部
敢闘賞	『おおみや』	埼玉・日交労働組合大宮支部
	『全自交えひめ情報』	愛媛・全自交愛媛地方本部
	『友和ニュース』	大阪・ナショナルタクシー労働組合
	『U-LINK』	東京・東洋交通労働組合
労力賞	『友報』	神奈川・神奈川都市交通労働組合
	『素敵な選タクシー』	大阪・全自交朝日自動車労働組合
	『労報 火うち石』	大阪・大阪トンボ労働組合
	『名タク労報』	愛知・名鉄交通労働組合
	『全相労ニュース』	大阪・全相互タクシー労働組合
	『砂丘』	北海道・函館タクシー労働組合



感染防止対策を徹底して開かれた定期大会

千葉地連
定期大会

コロナ禍乗り越え、生活と安全を守る

全自交千葉地連(岡里委員長)は10月9日、成田市の千葉交通労働組合会館で第49回定期大会を開き、「ライドシェアを絶対阻止し、コロナ禍を乗り越え組合員の生活と利用者の安全を守る」を柱とした2020年度運動方針を決定しました。

大会会場ではマスク着用・消毒・検温等の感染防止策を徹底しました。

主催者を代表して岡里委員長は「乗務員は感染リスクも高い中で働いている。公共交通は利用者の減少で経営困難に陥っており、交通崩壊を食

い止めるために、国や自治体は支援をもっと拡充すべきだ」と訴えました。また、感染リスクが高いタクシー乗務員に対する「危険手当」の支給を要請する考えを参加者に伝えました。

来賓として全自交東京地連の直井書記長が駆けつけ参加者を激励しました。

その後の議事で執行部から2020年度の運動方針案・予算案を提案し、全体の承認で新年度の運動方針・予算を確立しました。

そして新年度の役員選出を行い、岡里委員長(再任)、大久保副委員長(新任)、平山書記長(再任)らの新執行部を選出しました。

石川ハイタク連合会第32回定期大会

自治体や会社への要請行動を続ける



主催者を代表して挨拶する畠下委員長

全自交石川ハイタク連合会は10月13日、金沢市の石川県女性センターにおいて、第32回定期大会を開きました。

挨拶に立った畠下執行委員長は、本年度の定期大会が縮小して開催されるに至った経緯の説明とお詫びを述べると

もに、「現在、直面している人員不足や高齢化問題などに真摯に立ち向かい少しずつでも前進していこう。本年度に入ってから新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に運収が減少していますが、自治体や会社への要請行動をこれからもしっかり続けていきますので、乗務員の皆様は自分の健康利用して下さっているお客様の健康を第一に考えてください」「明けの夜はない、コロナが終息するまで皆で団結して頑張っていきましょう」と力強く挨拶しました。その後、提案された一年間の活動報告と決算報告、新年度の運動方針案や予算案を満場一致で承認するとともに、新年度役員体制を確立しました。

岩手地本 組織拡大行動

「夜間の利用者がいない」悲痛な訴え

「全自交」の名が浸透し、対話が活発に



花巻でチラシを配る仲間



盛岡駅で対話する仲間

全自交岩手地本(森茂執行委員長)は10月15日、9月初めに行った全県行動に続く第2弾の取り組みとして花巻市と北上市で組織拡大行動を行うとともに、10月18日には盛岡市で同様の組織拡大行動を行い、全自交本部作成のチラシと連合岩手が作成した最低賃金の改定を知らせるチラシを主要駅に待機するタクシードライバーに配布し、新型コロナウイルス感染症の影響等について対話しました。

花巻市では、倒産がうわさされてきたタクシー会社が事業の継続を決めました。会

社は「日中はタクシー注文も少なくなっています。夜の飲食街には人が出ていない。夜間はいくら流しても客がいない。」という乗務員の悲痛な訴えもあり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が続き、営収回復にはまだまだ時間がかかる厳しい状況が伝わってきます。

行動の回数を重ねるごとに「全自交」の名も浸透しており、チラシの配布を始めれば「ご苦労様です」と挨拶する乗務員も多くなっています。利用者と売上の推移や職場の困りごとなども気軽に話しかけられ、対話も活発に行われるようになっていきます。

みんなのそばに、いつも安心を

マイカー共済

【2020年4月制度改定】

こくみん共済coopだけの 最大22等級 掛金64%割引

スマートフォンでカンタンにお見積り!

茨城地本第60回定期大会

新型コロナ感染拡大と闘う 新執行委員長に金野氏を選出



新役員体制確立し運動の前進を誓う

全自交茨城地本は10月19日、水戸市・労働福祉会館で第60回定期大会を開き、新たに金野健一委員長ら新執行部を選出しました。

来賓として関東地連の水野委員長、連合茨城ハイタク部の福本幹事長が連帯の挨拶を行いました。議事では新型コロナウイルス感染拡大との闘いを柱とする新年度運動方針と予算を決定した後、役員改選を行いました。金野委員長(新任)、小野瀬副委員長(新任)、宇野書記長(再任)ら8名の新役員体制を確立しました。最後に団結カンパロウを三唱して大会を成功裏に終えました。